

福岡県看護協会9地区支部研修会 「摂食嚥下障害～食べるを支援する～」



公益社団法人福岡県看護協会9地区支部より当院リハビリテーション言語聴覚士の久池井朋子STへ講師依頼し研修会が開催されました。



参加者は82名、看護師以外の職種も参加されました。超高齢社会のなかで私たちがかわる患者様の一番の問題は食事と認知面の対応です。いかに早い時期から適切な対応をしていけるかが重要です。今回の研修で摂食嚥下障害に関する正しい知識と技術の重要性を再認識しました。

当院から19名も参加していたこと、また講演も「実技を交えた楽しくわかりやすい内容だった、面白かった」などの言葉を聞き私も誇らしく思いました。

今後も入院患者様をはじめ、地域の方々を支援できるよう学んでいきたいと思っております。



摂食嚥下障害 観察ポイント

食事時のチェックポイント

- ✓ むせる
- ✓ 飲み込む時に上を向く
- ✓ 口から食物がこぼれる
- ✓ 口の中に食物が溜まる
- ✓ ゴロゴロした声(湿性嘔声)



日常的なチェックポイント

- ✓ よだれが多い
- ✓ ろれつが回らない
- ✓ 痰が多い
- ✓ 発熱を繰り返す
- ✓ 食物の好みが変わる
(例:硬い食物を食べない)



<嚥下おでこ体操> <あご持ち上げ体操>

